

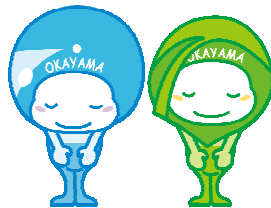
男女共同参画に関する市民意識・実態調査

日頃から市政についての温かいご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

岡山市では、男女共同参画社会形成を推進し、性別等にかかわらず市民一人ひとりの個性が輝く「住みよいまち、住みたいまち」を創ることを目的として、さまざまな取組を行っています。

この調査は、男女共同参画に関する市民の皆さまの考えや実情をお伺いし、岡山市の施策をさらに進めるための基礎資料とさせていただくことを目的に実施しています。皆さまのご回答は統計的に処理をし、個人が特定されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますようお願いいたします。



令和7年 9月 岡山市

回答方法

以下のいずれかの方法で回答してください。回答に要する時間は15分程度です。

(詳細は裏面をご覧ください。)

- ① 調査票に記入してポストに投函
- ② インターネットから回答

回答にあたってのお願い

- 回答の期限は、令和7年9月22日(月)です。
- 住民基本台帳から無作為に抽出した満18歳以上の市民3,000人の方を対象としています。
- ご回答は原則として封筒の宛名の方ご本人にお願いします。
- 無記名で回答いただきますので、どなたのお答えか分からないようになっております。

本アンケート調査は、岡山市がNext-i株式会社 岡山支店に調査を委託して実施します。

受託業者

【実施方法等調査の運用上の質問等お問い合わせ先】

Next-i 株式会社 岡山支店

TEL：086-230-0600

E-mail：Okayama@next-iii.co.jp

受付時間：月～金 9：00～18：00

調査主体

岡山市役所 女性が輝くまちづくり推進課

岡山市北区大供一丁目1番1号

TEL：(086) 803-1115 (直通)

(裏面に続く)

回答方法(詳細)

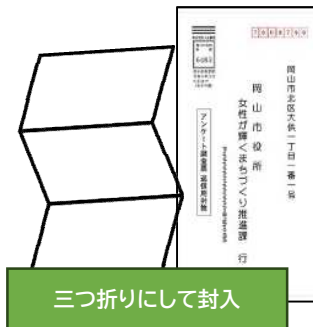
① 調査票に記入してポストに投函

- ・ 問いの指示に従って調査票に直接ご記入下さい。
- ・ 調査票で回答された場合、インターネットでの回答は必要ありません。

調査票に記入



同封の返信用封筒
(切手不要)に入れる



ポストに投函
(9/22まで)



② インターネットから回答

手順1 アクセスする

スマホ

二次元コードを読み取る

パソコン



<https://wsurvey.jp/s.php?clear=1&a=oky-376> にアクセス

◆岡山市公式ホームページ内のリンクからもアクセス可能

岡山公式ホームページ（男女共同参画に関する市民意識・実態調査のページ）

<https://www.city.okayama.jp/shisei/0000074481.html>

手順2 フォームに下記の「ログインID」と「パスワード」を入力して
画面の案内にそって回答をお願いします。

アンケート調査票

【WEB アンケート用】回答する際に入力してください。
(※途中再開する場合も同様)

ログインID
パスワード

3から始まる5桁の数字

アルファベット・数字6文字

あなた自身について

手順3 最後の質問を回答した後、「提出」ボタンを押す。(回答結果が送信されます。)

ご回答は令和7年9月22日(月)までをお願いします。

ログイン ID
パスワード

問1 あなたの性別をお答えください。

【○は1つだけ】

1. 男性 2. 女性 3. 答えたくない

問2 あなたの年齢をお答えください。

歲

問3 あなたには子どもがいますか。別居の子どもも含めてお答えください。

【○はいくつでも】

1. 乳児（1歳未満）
2. 幼児
3. 小学生・中学生
4. 高校生・大学生（専門学校を含む）
5. その他（社会人等）
6. 子どもはいない

問4 あなたには同居されているご家族はいますか。

【○はいいくつでも】

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 同居人はいない | 6. 祖父母 |
| 2. 配偶者・パートナー | 7. 子どもの配偶者・パートナー |
| 3. 子ども | 8. 兄弟姉妹 |
| 4. 父母 | 9. その他（ ） |
| 5. 孫 | |

問5 あなたは次の①から⑦の分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。

【○はそれぞれに1つだけ】

	男性の方が非常に 優遇されている	どちらかといえば 男性の方が 優遇されている	平等になっている	どちらかといえば 女性の方が 優遇されている	女性の方が非常に 優遇されている	わからない
(記入例)	1	2	③	4	5	6
①家庭で	1	2	3	4	5	6
②町内会・自治会・PTA 等地域活動の場で	1	2	3	4	5	6
③職場で	1	2	3	4	5	6
④学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
⑤政治の場で	1	2	3	4	5	6
⑥法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
⑦社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6

問6 新聞・テレビ・インターネット上の広告や番組等を見て、あなたは、次の①から④についてどのように感じたことがありますか。

【○はそれぞれに1つだけ】

	感じる	感じる どちらかといえば	感じない どちらかといえば	感じない	わからない
①女性や男性の役割を固定的にとらえている	1	2	3	4	5
②女性と男性を対等に扱っていない	1	2	3	4	5
③女性の性的側面を強調している	1	2	3	4	5
④女性に対する性犯罪を助長するおそれがある	1	2	3	4	5

問7 市内の小中学校では、学校教育のあらゆる機会や場面を通して、児童・生徒の発達段階に応じた男女平等教育を推進していますが、あなたは、次の①から⑥の取組についてどのように思いますか。

【○はそれぞれに1つだけ】

	よいと思う	よいと思う どちらかといえば	よいと思わない どちらかといえば	よいと思わない	わからない
①性別にかかわらず、自分の適性や興味・関心を踏まえた職業選択をすることの大切さを理解できるような授業を行う	1	2	3	4	5
②メディア（テレビ・新聞など）に登場する男女の描かれ方を調べ、「男女の表現」のし方、され方への問題意識を高めることができるような授業を行う	1	2	3	4	5
③性情報への対処や性感染症などについて学習することを通じて、自分を大事にし、相手も大事にしながら生きていこうとする気持ちをもつことができるようにする	1	2	3	4	5
④DVの実態を知り、被害者や加害者の気持ちを考えることでDVの本質を理解できるような授業を行う	1	2	3	4	5
⑤学校生活や家庭生活において、性別による固定的な役割分担が行われていないかを考えることができるような授業を行う	1	2	3	4	5
⑥男女別名簿・呼称（さん・君など）などで、男女を分けないようにする	1	2	3	4	5

問8 結婚や家庭生活について、次の①から⑧のような考え方について、あなたはどのように思いますか。

【○はそれぞれに1つだけ】

		そう 思っ	そう 思っ どちらか といえ	そう 思わな い どちらか といえ	そう 思わな い	わ か ら な い
結 婚 に つ い て	①結婚は、してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
	②夫婦別姓の結婚が認められてもよい	1	2	3	4	5
	③お互いが同意すれば、必ずしも婚姻届を出す必要はない	1	2	3	4	5
	④結婚しても相手に満足できないときは、離婚すればよい	1	2	3	4	5
家 庭 生 活 に つ い て	⑤男性は外で働くもの、女性は家庭を守るものだ	1	2	3	4	5
	⑥男性と女性の、どちらが外で働いても、家事・育児・介護をしてもよい	1	2	3	4	5
	⑦男性も女性も、どちらも仕事と家庭を両立できるのがよい	1	2	3	4	5
	⑧子どもが小さいときは女性は仕事をせず、育児に専念する方がよい	1	2	3	4	5

問9 現在、あなたには配偶者（夫または妻）・パートナー（事実上、婚姻関係と同様の事情にある者）がいますか。

【○は1つだけ】

1. いる ▶問10へ	2. いない ▶問11へ
-------------	--------------

問10 問9で「1. いる」と選択した方にお尋ねします。 ①～⑩について、実際の分担はどうですか。

【○はそれぞれに1つだけ】

	夫が 主に	妻と夫で 同じ程度に	妻が 主に	妻・夫以外の 家族が 主に	家族以外が 行っている	該当しない
①掃除	1	2	3	4	5	
②洗濯	1	2	3	4	5	
③食事のしたく	1	2	3	4	5	
④食事の片付け	1	2	3	4	5	
⑤ゴミ出し	1	2	3	4	5	
⑥日常の買い物	1	2	3	4	5	
⑦家計の管理	1	2	3	4	5	
⑧町内会・自治会・PTA等地域活動	1	2	3	4	5	
⑨子どもの世話・教育・しつけ	1	2	3	4	5	6
⑩家族の介護	1	2	3	4	5	6

問 1 1 すべての方にお尋ねします。

あなたの希望（理想）は、①～⑩について、どのように分担するのがよいと思いますか。

【○はそれぞれに1つだけ】

	夫が主に	妻と夫で同じ程度に	妻が主に	妻・夫以外の家族が主に	家族以外が行う	該当しない
①掃除	1	2	3	4	5	
②洗濯	1	2	3	4	5	
③食事のしたく	1	2	3	4	5	
④食事の片付け	1	2	3	4	5	
⑤ゴミ出し	1	2	3	4	5	
⑥日常の買い物	1	2	3	4	5	
⑦家計の管理	1	2	3	4	5	
⑧町内会・自治会・PTA 等地域活動	1	2	3	4	5	
⑨子どもの世話・教育・しつけ	1	2	3	4	5	6
⑩家族の介護	1	2	3	4	5	6

問１２ 男性と女性がともに家事・育児・介護・地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

【○はあてはまるものすべて】

1. 男女の役割分担について社会通念・慣習・しきたりを改めること
2. 男性の仕事中心の生き方・考え方を改めること
3. 企業がワーク・ライフ・バランスの推進や休暇制度の充実・利用促進に努めること
4. 職場において、上司や同僚が家庭生活や地域活動への参加に理解を示すこと
5. 配偶者・パートナーや家族間で家事などの分担について十分に話し合うこと
6. 男性が家事などに参加することに対する、男性自身の抵抗感をなくすこと
7. 男性が家事などに参加することに対する、女性の抵抗感をなくすこと
8. 子どもに家事などを男女で分担するようなしつけや育て方をすること
9. その他（
10. 特になし
11. わからない

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

問13 現在の就労状況についてあてはまるものを1つだけお選びください。

※学生の方で現在アルバイトやパートなどを行っている場合はその項目を選んでください。

※ダブルワークをしている方はご自身が主と思う項目を選んでください。

【○は1つだけ】

1. 会社経営・自営
2. 正社員・正職員
3. パート・アルバイト
4. 派遣社員・派遣職員
5. その他就労中（ ）
6. 就労していない

➤問14へ

➤6を選択した方は、現在就労していない理由はどのようなことですか。

【○は3つまで】

➤問15へ

- | | |
|----------------------------|----------------|
| 1. 希望する職種の仕事がない | 9. 家族の看護・介護 |
| 2. 希望する労働条件に合った仕事がない | 10. 自身の健康上の理由 |
| 3. 希望する勤務時間に合った仕事がない | 11. 魅力のある仕事がない |
| 4. 仕事と家庭生活の両立が難しい | 12. 経済的に困っていない |
| 5. 配偶者・パートナーの理解が得られない | 13. 就労したくない |
| 6. 配偶者・パートナー以外の家族の理解が得られない | 14. 学生 |
| 7. 出産 | 15. その他 |
| 8. 子育て | () |

問14 問13で1～5を選択した方にお尋ねします。

あなたの今の職場では、性別により、どのような扱いをされていると思いますか。

【○は1つだけ】

1. 性別にかかわらず、平等に扱われていると思う ➤問15へ
2. 性別により不当な扱いをされていると思う

➤2を選択した方は、性別による不平等な扱いの具体的な内容はどのようなことですか。

【○はあてはまるものすべて】

- | | |
|---------------------|--|
| 1. 賃金に差がある | 9. 結婚や出産で不当に不利な扱いを受ける
(減給・退職等) |
| 2. 昇給・昇格に差がある | 10. 性的なことがらで嫌がらせを受ける
(セクシャル・ハラスメント) |
| 3. 能力が正当に評価されない | 11. 年齢に関する嫌がらせを受ける |
| 4. 仕事の量や質に差がある | 12. 育児・介護に関する休暇が取りにくい |
| 5. 教育・訓練を受ける機会に差がある | 13. その他 |
| 6. 休暇の取りやすさに差がある | () |
| 7. 残業時間に差がある | |
| 8. 転勤の機会に差がある | |

問15 **すべての方にお尋ねします。**

あなた自身が企業や組織の中で管理職を目指して働きたいかどうか、あなたの考えに近いものをお選びください。

【○は1つだけ】

1. 非常にそう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. まったくそう思わない

➤問16へ

➤3～4を選択した方は、その理由は何ですか。

【○は3つまで】

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 1. 責任が重くなる | 8. メリットがない又は低い |
| 2. やるべき仕事が増える | 9. 自分の雇用形態では昇進の可能性がない |
| 3. 能力・体力に自信がない | 10. もともと長く勤める気がない |
| 4. 労働時間が長く、仕事と家庭の両立が困難になる | 11. 定年が近い |
| 5. 配偶者・パートナーや家族の協力を得られない | 12. 今の仕事に満足している |
| 6. 周りに同性の管理職がない | 13. その他 |
| 7. 妬まれて足を引っ張られる | () |

問16 **すべての方にお尋ねします。**

企業や組織における女性の管理職は少ないのが現状ですが、その理由についてどのように思いますか。

【○は3つまで】

1. 就ける職種が限られていることで、幅広い職務経験が不足している
2. 管理職として必要な経験、知識が不足している
3. 判断力、折衝力、企画力、マネジメント力などが不足している
4. 女性自身が管理職となって活躍することを望んでいない
5. 家事や育児などの負担があるため管理職としての対応ができない
6. 結婚や出産で退職することが多い
7. 残業、出張、転勤に応じられる人が少ない
8. 管理職が出産等で休業した場合の代替要員の確保が難しい
9. 働きやすい職場環境を整備するための会社や組織の負担が重い
10. 管理職に対する取引先の理解が十分でない
11. 男性従業員の理解が十分でない
12. 管理職の理解が十分でない
13. 役員層の理解が十分でない
14. 配偶者・パートナーや家族の理解が十分でない
15. その他 ()

問17 就労している時に結婚のご経験がありますか。

【○は1つだけ】

1. ある ▶問17-1へ

2. ない ▶問18へ

問17-1 結婚した時の仕事に対する思いと仕事の継続に関する決定として、あてはまるものをお選びください。 【○は1つだけ】

- 1. 辞めたいと思うことなく働いた
- 2. 辞めたかったが働いた
- 3. 辞めたかったので退職した
- 4. 辞めたくなかったが退職した
- 5. その他 ()

▶2～4を選択した方は、辞めたいと思った理由又は退職した理由は何ですか。

【○は3つまで】

- 1. 仕事と家庭を両立する自信がなかった
- 2. 仕事に続けたいと思うほどの魅力がなかった
- 3. 配偶者・パートナーの理解と協力が得られなかった
- 4. 配偶者・パートナー以外の家族の理解と協力が得られなかった
- 5. 結婚後は退職するものという職場の雰囲気があった
- 6. 配偶者・パートナーと同居するために転居しなければならなかった
- 7. 配偶者・パートナーからの退職してほしいという希望があった
- 8. 結婚したら退職しようと思っていた
- 9. その他 ()

問18 就労している時に出産又は育児のご経験がありますか。

【○は1つだけ】

1. 経験がある ▶問18-1へ

2. 経験がない ▶問20へ

問18-1 出産又は育児に際しての仕事に対する思いと仕事の継続に関する決定として、あてはまるものをお選びください。

【○は1つだけ】

- 1. 辞めたいと思うことなく働いた
- 2. 辞めたかったが働いた
- 3. 辞めたかったので退職した
- 4. 辞めたくなかったが退職した
- 5. その他 ()

▶2～4を選択した方は、辞めたいと思った理由又は退職した理由は何ですか。

【○は3つまで】

- 1. 仕事と子育てを両立する自信がなかった
- 2. 仕事に続けたいと思うほどの魅力がなかった
- 3. 配偶者・パートナーの理解と協力が得られなかった
- 4. 配偶者・パートナー以外の家族の理解と協力が得られなかった
- 5. 配偶者・パートナーからの退職してほしいという希望があった
- 6. 子どもを預ける施設やサービスがなかった
- 7. 自分の手で子どもを育てたかった
- 8. 職場に子どもが生まれたり退職するものという雰囲気があった
- 9. 職場に子育てしながら仕事を継続するための支援制度がなかった
- 10. その他 ()

問19 現在働いている又は過去に働いていた会社や組織において、育児休業を取得した経験はありますか。

1. ある ➤問20へ

2. ない

➤2を選択した方は、利用しなかった理由はどのようなことですか。

【〇は3つまで】

1. 制度が整備されていなかった
2. 利用する必要がなかった
3. 収入が減ってしまう
4. 職場に迷惑がかかる
5. 職場が取得しづらい雰囲気だった
6. 上司の理解がなかった
7. 家族が賛成しなかった
8. 今後のキャリア形成に影響があると思った
9. 制度についてよくわからなかった
10. その他（ ）

問20 生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・つきあい等）」の優先度について、あなたの希望（理想）に最も近いものはどれですか。

【〇は1つだけ】

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」をともに優先したい
8. わからない

問20-1 生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・つきあい等）」の優先度について、あなたの現実（現状）に最も近いものはどちらですか。

【〇は1つだけ】

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」をともに優先している
8. わからない

問2 1 現在または過去において、主としてあなたが介護している（した）方はいますか。

【〇は1つだけ】

- | | |
|-----------|--------|
| 1. いる（いた） | 2. いない |
|-----------|--------|

問2 2 男性が育児休業や介護休業などを取得することについて、あなたの考えに近いものをお選びください。

【〇は1つだけ】

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 積極的に取るべき | 3. どちらかといえば、取らない方がよい |
| 2. どちらかといえば、取る方がよい | 4. 取るべきではない |

問2 3 育児休業や介護休業を取得する男性は少ないのが現状ですが、その理由について、あなたの考えに最も近いものをお選びください。

【〇は1つだけ】

- | |
|------------------------------------|
| 1. 男性が育児休業や介護休業を取ることにに対して、職場の理解がない |
| 2. 休業中は収入が少なくなる |
| 3. 育児・介護は女性の役割であるという意識がある |
| 4. 将来のキャリアアップに影響する |
| 5. 休業後の待遇面に不安がある |
| 6. その他（ ） |

問2 4 男性も女性も仕事と家庭を両立するために、何が必要だと思いますか。特に重要と思われるものをお選びください。

【〇は3つまで】

- | |
|---------------------------------|
| 1. 長時間残業の削減 |
| 2. 短時間勤務、フレックスタイムや在宅勤務の普及 |
| 3. 家族や配偶者の子育て、介護、家事の分担 |
| 4. 上司や同僚の理解 |
| 5. 育児・介護等による休業がハンディとならない評価制度の導入 |
| 6. 育児・介護等に関するサービスの充実 |
| 7. 育児・介護休業などを利用しやすい職場環境 |
| 8. 育児・介護休業中の給付金の充実 |
| 9. 子育て・介護などによる退職後の再雇用制度の普及 |
| 10. その他（ ） |

問2 5 一般的に女性が職業をもつことについて、どのように思いますか。

【〇は1つだけ】

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 職業をもたない方がよい |
| 2. 結婚するまでは職業をもつ方がよい |
| 3. 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい |
| 4. 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい |
| 5. 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい |
| 6. その他（ ） |
| 7. わからない |

問26 女性が企業や組織で働き続けるために、何が必要だと思いますか。次の中から特に必要だと思うものを選んで数字に○をつけてください。

【○は3つまで】

1. 子育てや、家族の介護・看護を支援する公的制度の充実

2. 企業や組織における仕事と家庭の両立支援制度の整備・充実
(育児休業制度・短時間勤務制度・事業所内託児施設の運営など)

3. 配偶者・パートナーの理解と協力

4. 配偶者・パートナー以外の家族の理解と協力

5. 仕事と家庭(子育て・介護など)に関する職場の上司の理解

6. 仕事と家庭(子育て・介護など)に関する職場の同僚の理解

7. 女性の就労を促進しようという経営トップの意思表示

8. 休暇がとりやすい職場の雰囲気

9. 女性が働きやすい職場の雰囲気

10. 残業を減らすなどの組織の取組

11. 幅広い職務経験や教育・研修などによる女性自身のキャリアアップ・スキルアップ

12. 昇進・昇格の機会があること

13. やりがいのある仕事をもつこと

14. 職場におけるロールモデル(目指したい先輩)の存在

15. 信頼できるメンター(相談相手・指導者)の存在

16. 女性自身の自覚、意欲の向上

17. その他()

18. 特にない

19. わからない

健康について

問27 女性特有の健康課題には、月経痛や月経前の時期の不調(PMS:月経前症候群)など月経周期に伴う不調や妊娠、不妊・不育、更年期障害、婦人科系がん等の疾患や不調などがあります。これらの不調等について、仕事や家事・育児、介護をするにあたりどの程度支障があると思いますか。
※女性は自身の経験や身近な女性を参考に、男性はパートナーなど身近な女性を参考に、あなたの考えに一番近いものを選んでください。

【○はそれぞれに1つだけ】

	支 障 な し	ま っ た く	支 障 あ り	少 し は	支 障 あ り	あ る 程 度 は	支 障 あ り	か な り	よ く わ か ら な い
①月経(月経前症候群を含む)	1	2	3	4	5				
②妊娠・出産	1	2	3	4	5				
③不妊・不育治療	1	2	3	4	5				
④更年期障害	1	2	3	4	5				

【○はあてはまるものすべて】

-)

※現在働いていない人は、「こんな制度があったら女性が働きやすそう」と思うものをお選びください。

【○はあてはまるものすべて】

-)

【○はそれぞれに1つだけ】

支障なし

配偶者等からの暴力について

問3 1 あなたには現在、配偶者・パートナーや恋人がいますか。または過去に配偶者・パートナーや恋人がいましたか。

【○は1つだけ】

1. いる (いた)

2. いない ▶問3 4へ

問3 2 問3 1で「1. いる (いた)」と回答された方だけ、お答えください。

あなたはこれまでに、あなたの配偶者・パートナーや恋人（など親密な）関係の人から次の①から⑤のような行為を受けたことがありますか。それぞれについて、あてはまるものを選んで数字に○をつけてください。

【○はそれぞれに1つだけ】

暴力の種類	暴力の内容	あ つ た も	あ つ た 一 、 二 回	な い ま っ た く
①身体的	なぐる ける 刃物などの凶器を体につきつける など	1	2	3
②精神的	なぐるふりをして脅す 大声でどなる 馬鹿にする 何を話しかけても無視する など	1	2	3
③経済的	生活費を渡さない お金の使い方を細かくチェックする 仕事を制限する など	1	2	3
④社会的	電話・メール・SNS を細かくチェックする 交友関係や行先など、行動を監視し制限する など	1	2	3
⑤性的	性行為を強要する 避妊に協力しない 見たくないポルノ雑誌・映像などを見せる など	1	2	3

問3 3 あなたが受けた問3 2の行為について誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。

※問3 2ですべての項目に「まったくない」を選択した方も、もしその行為を受けた場合を想定してお答えください。

【○はあてはまるものすべて】

1. 親族・親戚	9. 他都市の相談機関
2. 知人・友人	10. 民間の相談機関（NPO 法人など）
3. 岡山市男女共同参画相談支援センター	11. 学校・教師・養護教諭・スクールカウンセラー
4. こども家庭センター （こども・家庭に関する相談窓口）	12. 弁護士・裁判所・法テラス等
5. こども総合相談所（児童相談所）	13. 医師・保健師・カウンセラー・医療スタッフ
6. 警察署	14. その他（ ）
7. 岡山県女性相談支援センター	15. 相談しなかった（しない）
8. 岡山県男女共同参画推進センター （ウィズセンター）	【理由： 】

問34 DV*（配偶者等からの暴力・デートDV）についての相談機関として、市内には主に次のようなものがありますが、あなたはこれまでにDVの相談機関としてどれを知っていましたか。

【○はあてはまるものすべて】

- | | |
|----------------------------------|---------------------------------|
| 1. 岡山市男女共同参画相談支援センター | 4. 岡山県女性相談支援センター |
| 2. こども家庭センター
（こども・家庭に関する相談窓口） | 5. 岡山県男女共同参画推進センター
（ウィズセンター） |
| 3. 警察署 | 6. 民間の相談機関（NPO 法人など） |

***DVとは**

ドメスティック・バイオレンス（Domestic Violence）の略。

配偶者（元配偶者を含む）やパートナー（元パートナーを含む）からの暴力をさす。

また、親密な交際相手からの暴力をデートDVといい、この調査では、デートDVを含めてDVと表記します。

問35 DVを防止するためには、どのようなことが効果的または必要だと思いますか。次の中からあてはまるものを選んで数字に○をつけてください。

【○はあてはまるものすべて】

- | |
|--|
| 1. 学校などでDVを防止するための教育を行う |
| 2. 地域でDVを防止するための研修会・イベントなどを行う |
| 3. 市の広報誌等を活用し、DVを防止するための啓発を行う |
| 4. DV加害者に対し、繰り返さないための啓発や研修を行う |
| 5. 被害者がDV被害について早期に相談できるよう、相談窓口の周知を行う |
| 6. DV被害について、加害者からの支配の構造やDVの種類、被害者の心への影響を正しく理解するための機会を設ける |
| 7. DV加害について、行為の根本の原因やDV加害がもたらす影響・結果を正しく理解するための機会を設ける |
| 8. その他（ ） |
| 9. 特にない |
| 10. わからない |

問36 DV被害者への支援の中で、どのような取組が効果的、または必要だと思いますか。次の中からあてはまるものを選んで数字に○をつけてください。

【○はあてはまるものすべて】

- | |
|--|
| 1. 相談窓口やDV被害者への支援の内容について、広報を行う |
| 2. 被害者が相談する場所等における、安全やプライバシーの確保について配慮する |
| 3. 夜間や休日の緊急対応を行う |
| 4. 法律や心理的な面での専門的な相談が受けられる |
| 5. メールやSNSで相談が受けられる |
| 6. 被害者や子どもの安全が守られ、安心して暮らせる施設がある |
| 7. その他（ ） |
| 8. 特にない |
| 9. わからない |

男女共同参画の推進について

問37 あなたは、「男女共同参画社会*」・「ジェンダー*」について知っていますか。

【○はそれぞれに1つだけ】

	内容を知っている	言葉ぐらいは知っている	知らない
①男女共同参画	1	2	3
②ジェンダー	1	2	3

***男女共同参画社会とは**

性別等にかかわらず社会のあらゆる分野の活動において、一人ひとりの個性や能力が十分に生かされる社会のことで、岡山市は、その実現を目指しています。

*ジェンダーとは

生物学的性別（セックス）に対して、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「女性像」「男性像」があり、このような女性男性の別をジェンダーと言います。国連などの国際会議でも使われ、世界的にも広く認められている言葉です。

問38 あなたは、「さんかく岡山＊」を知っていますか。また利用したことがありますか。

【○は1つだけ】

1. 利用したことがある
2. あるのは知っているが利用したことはない
3. 知らない

*さんかく岡山とは

北区表町三丁目に開設している岡山市男女共同参画社会推進センターの愛称。

講演会・講座・図書の閲覧や貸出・映画会・相談・会議室や展示コーナーの貸出・託児などの事業を行っています。

詳しくはこちら



問39 あなたは、「さんかく岡山」にどのような役割を期待しますか。

【○はあてはまるものすべて】

1. 男女共同参画に関する幅広い情報・書籍資料等の収集・提供
2. 講演会・シンポジウム・フォーラム等の企画・開催
3. 相談機能の充実
4. 男性向けの講座等の充実
5. 交流の場
6. 調査・研究機能の充実
7. 再就職に向けての女性の就業支援
8. 自主的な学習活動・NP0・ボランティアの活動支援
9. 女性の人材育成
10. 出前講座の充実
11. 若年層が身体や心のことについて気軽に相談できる場
12. その他（ ）
13. 特にない
14. わからない

問40 あなたは、「さんかくウィーク*」を知っていますか。また行事に参加したことがありますか。

【〇は1つだけ】

1. 行事に参加したことがある
2. あるのは知っているが行事に参加したことはない
3. 知らない

***さんかくウィークとは**

6月21日から27日までの1週間を「岡山市男女共同参画推進週間」（さんかくウィーク）と位置づけて、その前後1週間を含め全3週間にわたって、男女共同参画に関するさまざまな行事を行っています。

問41 岡山市が目指す男女共同参画社会の実現を推進するうえで、今後、どのようなことが必要だと思いますか。

【〇は3つまで】

1. 男女平等意識を育てる学校教育や生涯学習の機会を充実する
2. 女性に対する暴力を根絶するための取組を充実する
3. 女性のための相談機能を充実する
4. 男性への意識啓発及び相談機能を充実する
5. 生涯を通じた女性の健康保持を支援する
6. L G B T*など、さまざまな性の正しい理解に関する情報提供を充実する
7. 男女共同参画の視点から、慣習の見直しや啓発を進める
8. 町内会・自治会・PTA等地域活動の場で女性の参画を拡充する
9. 国際的な取組等についての情報提供及び啓発・国際交流を充実する
10. 職場における女性活躍を推進する
11. 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める
12. 男女がともに仕事と子育て・介護などを両立できる環境を整備する
13. 出産・育児等により離職した女性に対する再就職等を支援する
14. 政策や方針決定過程への女性の参画を拡充する
15. 政治分野での女性の参画を拡充する
16. その他（ ）
17. 特にない
18. わからない

***L G B Tとは**

L＝レズビアン、G＝ゲイ、B＝バイセクシュアル、T＝トランスジェンダーの頭文字を並べたもの。

なお「性的マイノリティ」とほぼ同じく、この4つにあてはまらない広い意味でも用いられています。

ひとの性のあり方は「からだの性」「こころの性（性自認）」「好きになる性（性的指向）」「性役割（女らしさ、男らしさ）」など様々な要素で構成されます。これらの要素は「女」「男」に二分できないグラデーションになっていて一人ひとり異なります（性の多様性）。

こうした性のあり方は人格の重要な要素で、無理に変えることはできませんし、変える必要はありません。

現在の日本では「からだの性とこころの性は同じ」「異性を好きになる」などの前提に当てはまらない人は、人生の様々な場面で悩みを抱えることがあります。

問4 2 あなたは、平時の防災体制や災害発生後の対応において、男女共同参画の視点からどのようなことが必要だと思いますか。

【○はあてはまるものすべて】

1. 防災や復興の政策・方針を決める過程に男女がともに参画する
2. 町内会・自治会や地域の自主防災組織の運営に男女がともに参画する
3. 平時から性別に配慮した防災訓練を行う
4. 性別によって異なる災害時の備えについて知識を普及する
5. 性別に配慮した避難所運営を行う（更衣室・トイレ・プライバシーの確保など）
6. 避難所でのリーダーや炊き出しなどの役割を性別で固定せずに分担する
7. 災害発生時に、女性が安心して相談できる体制や環境を整備する
8. 災害発生後に増加が懸念される性暴力やDVへの対応を強化する
9. その他（ ）
10. 特にない
11. わからない

問4 3 岡山市では、令和2年7月1日から「岡山市パートナーシップ宣誓制度*」を開始しています。
あなたはこの制度を知っていますか。あてはまるものを選んで数字に○をつけてください。

【○は1つだけ】

1. 岡山市で実施していることを知っている
2. 岡山市で実施していることは知らなかったが、制度は知っている
3. 制度自体知らない

***岡山市パートナーシップ宣誓制度とは**

お互いを人生のパートナーとし、日常生活において協力し合うことを約束した性的マイノリティである二人が、パートナーシップの宣誓を行い、岡山市が「パートナーシップ宣誓書受領証」及び「パートナーシップ宣誓書受領証明書カード」を交付する制度。令和6年9月から異性パートナーも対象とする制度へと拡充。
法的な効力はありませんが、お二人の想いを尊重し自分らしく生き生きと暮らせることを岡山市として応援するものです。

問4 4 男女共同参画について、ご意見や日頃感じておられることがありましたら、ご自由にお書きください。

お手数ですが、記入もれがないか再度ご確認ください。同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて9月22日（月）までにお近くのポストに投函してください。

インターネットから回答してくださった方は、ポストに投函は不要です。

